



第18回東アジア古代鉄文化研究センターアジア歴史講演会

愛媛大学研究活性化事業「世界最古の製鉄技術の解明—トルコ・カマンカレホック遺跡出土資料に基づいて」

基盤研究A(海外学術調査)「製鉄の起源と展開に関するフィールドワークに基づいた実証的研究」

研究成果報告

金属時代の黎明 —価値と技術—

申込不要・入場無料

現代社会に欠かせない鉄。

その起源のメカニズムや背景を歴史学的に明らかにすることは、
これからの社会と産業の関係を見通すうえでも意義あることです。

近年の調査・研究から、鉄の起源は、西アジアを中心とした地域を舞台に、
銅などの他の金属の生産・利用そして交易と深く関わっていることが分かってきました。
新たなパラダイムを構築すべく、考古学と文献史学から総合的に考えてみたいと思います。

日時:2015年2月14日(土) 13:00~15:30

場所:愛媛大学メディアセンター メディアホール

津本英利(古代オリエント博物館) 西アジア地域における初期鉄器研究史

畑守泰子(愛媛大学) 古代オリエント世界における金属利用と交易

村上恭通(愛媛大学) 銅・鉄の出現と初期拡散

主催:愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

Tel/Fax: 089-927-8391 Email: kotetsuAIC@gmail.com